

日本共産党 大津市会議 員団ニュース

No.194

2018年6・7月号

大津市御陵町3-1(市役所内)
TEL 528-2842 FAX 524-5613

ご意見・ご要望を
お寄せください。
info@otsu-jcp.net



6月4日から大津市議会通常会議が行われていま
す。党市議団は、市民の声を届け、安心して暮らせる
大津市をと議事に臨んでいます。(6月29日終了)

6月通常会議

今年5月、越市長は、3
つの学区が取り組まれた
36学区ごとにある支所を
10力所に削減する案への
反対署名を受け取りませ
んでした。その後、市長は「受
け取りを見合わせ

れます。
しかし、
この6
月議会
に提案
された、
公設卸売
市場の民営化推
進や都市公園の整備・運営
を民間に行わせる議案を見
ても、市場関係者や市民の
声を受けとめるという姿勢
はなく、強い批判の声が上
がっています。議会からの
指摘に対しても、民営化す
ればすべて上手くいくかの
ような論をくり返し、誠実
な答弁はありませんでした。
市民あっての大津市であ
り、市民の福祉向上のため
に働くのが自治体の役割で
す。党市議団は、市民本意
の市政実現へ全力で取り組
んでいきます。



市民無視の越市政を追及

署名の受け取り
拒否は、憲法に明記
された市民の請願
権を否定する行為
であり、市長には、
自分と異なる意見
でも真摯に受けと
め、市民とともに考
え進めるといふ謙
虚な姿勢が求めら
れます。

ただで拒否はし
ていない」と言い出
し、署名提出時に受
け取らなかったこ
とが間違いであつ
たとは、いまだに認
めていません。
署名の受け取り
拒否は、憲法に明記
された市民の請願
権を否定する行為
であり、市長には、
自分と異なる意見
でも真摯に受けと
め、市民とともに考
え進めるといふ謙
虚な姿勢が求めら
れます。

安倍政権 退陣、県民のための政治へ 引き続き奮闘します

滋賀県知事選挙、県議会議員補欠選挙でのご支援、ご協
力ありがとうございました。

来年の春には、いっせい地方選挙があり、大津市も議員
選挙が行われます。またその翌年には大津市長選挙もあり
ます。現在の越市政は、国言いなりで経費削減を第一に、
市民の生活実態や声を無視し、市民サービスを次々と削減
しています。日本共産党市議団は、市民の声を生かした市
政へと転換するため力を尽くします。

党議員団の一般質問紹介

国民健康保険料の負担軽減を

杉浦とも子 市議



この4月
から国民健
康保険が都
道府県化され、

制度が大きく変わりました。しかし、社会保障としての制度であることや市町がこれまで通り保険料を決めたり、徴収したりすることは変わりません。

今年度の大津市の保険料は、当初大幅な値上げが見込まれていたため、市民からは不安の声が上がり、請願も寄せられ、党市議団も負担増の中止をくり返し求めてきました。その後、昨年度決算で10億円余り

の繰越金が出る見込みとなり、その一部を当てることで保険料はほぼ据え置きになりました。

市民の運動と議会での質問が実を結んだものですが、それでも収入の14・3%の負担率は高すぎます。杉浦市議は、せめて子どもにまで均等にかけるように要求。市は行わないと答弁しましたが、実現に向けてさらに取り組んでいきます。

【その他の質問項目】署名受け取り拒否など市長の姿勢、公営駐車場、道徳の教科化について

児童クラブの

障がい児巡回相談の復活を



児童クラブ
では長年、障
がい児や支援

が必要な子どもに対し、発達相談員等が巡回相談を行っていましたが、今年度から廃止されてしまいました。石黒市議は、指導員や保護者からの復活要望も大きいことをあげ、子どもたちの発達を保障するために早期の復活を求めました。

市は、巡回をやめ、必要な場合に理学療法士や発達相談員等の専門職と連携を図っていくとの答弁に終始。引き続き復活を求めていきます。

石黒かつ子 市議

価され、市が市民のみならずと力を合わせてつくり上げてきた誇れる施策です。

巡回相談は、大津方式として保育園で取り組まれている大津市独自の施策で、それを受け継いだ形で児童クラブでも実施し、質の高い障がい児保育を行ってきました。全国でも先進的などり組みとして評

児童クラブを訪問し、実情を聞く石黒市議



民主主義の根幹を支える 公文書の適正管理を

林まり 市議

国の文書改ざんなど、公文書の適正な取り扱いが大きな問題となっています。公文書管理法は、地方自治体に対しても適正管理について、必要な施策を策定・実施する努力義務を課していますが、自治体によって対応に違いがあります。

大津市でも今年2月、情報公開請求時に、「対象文書は存在しない」と説明されたものが、後日確認され公開されるということがありました。自治体は、実施した施策に関して市民に対する説明責任を負い、市民がい



つでも検証できなければなりません。大津市には文書の位置づけは示されていません。

林市議の指摘に対し、市は「市民の知的財産であることを踏まえ、必要な記録を作成するよう、職員への周知徹底を図る」と答弁しましたが、公文書の意義を明確にし、文書の取り扱いを抜本的に見直すことが必要です。

【その他の質問項目】公設卸売市場のあり方、障がい者福祉と住まいについて

う方針を示しています。

岸本市議は「子育てや地域交流の拠点である幼稚園や保育園の縮小は、地域活性化や自治協働を進展させる」と指摘。市は民営化ありきで、「市が影響を及ぼすことができる仕組みを充分考える必要がある。地域活性化も図っていきたい」と答

弁。しかし、民間事業者は儲からなければ撤退をし、子育ての拠点とはなりません。人口減少・少子化している地域ならなおさら、市が責任を持って公営で継続すべきです。

【その他の質問項目】下水道整備と浄化槽補助金について

市民の利用しやすい駐輪場へ

京阪駅前駐輪場

たてみち秀彦 市議



大津市が京阪電車(株)から

土地を借りて運営していた松ノ馬場、穴太、近江神宮、石場の各駅にある駐輪場が、4月から京阪電車に土地が返還され、京阪が委託する業者の運営に変わりました。これにより、利用料金が無料から1回100円になりました。



穴太駅前駐輪場。バイクは利用できず通路に置かれています

「有料になって大変。通勤通学割引もない」バイクが止められないのを何とかし

って駐輪場利用者が減る半面、違法駐輪が増え、駅前環境の悪化にもつながっています。京阪電車の社会的責任も問われますが、市民の声を受けとめ、京阪に働きかけるなど改善に向け取り組むべきと追及。

市は「今後も協議を続ける」と答弁しましたが、高校生の通学にも大きな負担となっているなど、急ぎ対策が必要です。引き続き働きかけていきます。

【その他の質問項目】生活保護、競走馬育成施設について

保育園の民営化は地域の活性化に逆行

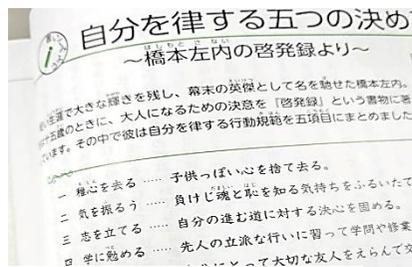
岸本のり子 市議



「民間にできることは民間に」という越市長の方針のもと、少子化が進む伊香立や仰木などの幼

稚園、保育園の民営化・統廃合の計画が進められています。さらに今年度耐震診断を行う比良、和邇、唐崎保育園で、改修が必要な場合には民営化の検討をするとい

子どもの心を評価?!



「大人になるための決意」を書かせる教科書。「決意」にまで成績をつけるのでしょうか

価値観を押しつける道徳教科書

小学校に続き、来年度から中学校でも道徳が教科化され、成績評価の対象とされます。8月にはその教科書が決定されます。

党市議団も各社の教科書を閲覧しましたが、男女別の役割や日本の「素晴らしさ」の強調など時代錯誤な内容が目立ちます。

日本共産党は道徳の教科化に反対しています。実施にあたっては、教科書にしばられるのではなく、学校現場の自主性を尊重し、子どもたちの尊厳が保障され、成長に応じた授業が行われるよう求めています。

教科書展示は7月5日(木)まで、生涯学習センターで自由にご覧いただけます。展示時間：9時～16時半(休館日：7月1、2日)

「の」の声を市議団に寄せられ、ためち市議が、6月議会ですり上げました。有料化によ

憲法の9条を守ろう 改憲NO! 300万人署名に協力ください

詳しくは市議団ホームページのバナーをクリック <http://www.otsu-jcp.net/>